



お元気ですか!

志村 たかよし です

第638号 2013年4月21日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

人より「箱もの」優先のまちづくり

市街地再開発事業に52億円（13年度）の税金投入

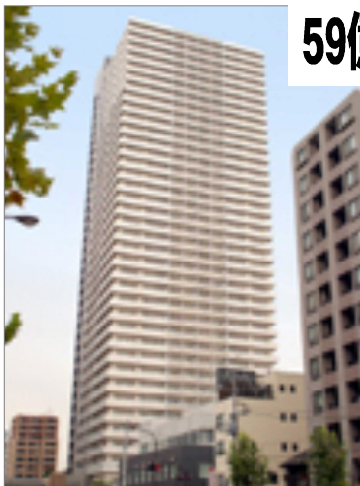
開発事業への税金投入額

77億6510万円



東京タワーズ = 勝どき六丁目

59億5430万円



ムーンアイランドタワー=月島

57億60万円



トルナーレ日本橋浜町

中央区では、長年住み続けてきた区民の方たちが、大規模開発のために泣かされていますが、その市街地再開発事業には多額の税金が投入されています。

まちづくりの「主人公」は、いったい誰なのかが問われています。

中央区は、人口が急増し施設整備などにお金がかかるからとして、サービス削減や負担増の路線を進めています。

今年度は、敬老買物券贈呈や出産支援タクシー利用券の縮小など、これまで続けてきた施策を削ったり区民負担を増やすことによって、

1億3千万円の財源を生み出そうとしています。

その一方で、人口急増の要因である超高層タワー型マンションなどを中心とする再開発事業には、今年度だけでも52億円を超える税金を投入し、開発業者や大企業は大喜びです。

これから工事が始まる「湊二丁目東地区」の再開発事業者は、約48億円の税金投入を見込んでいます。

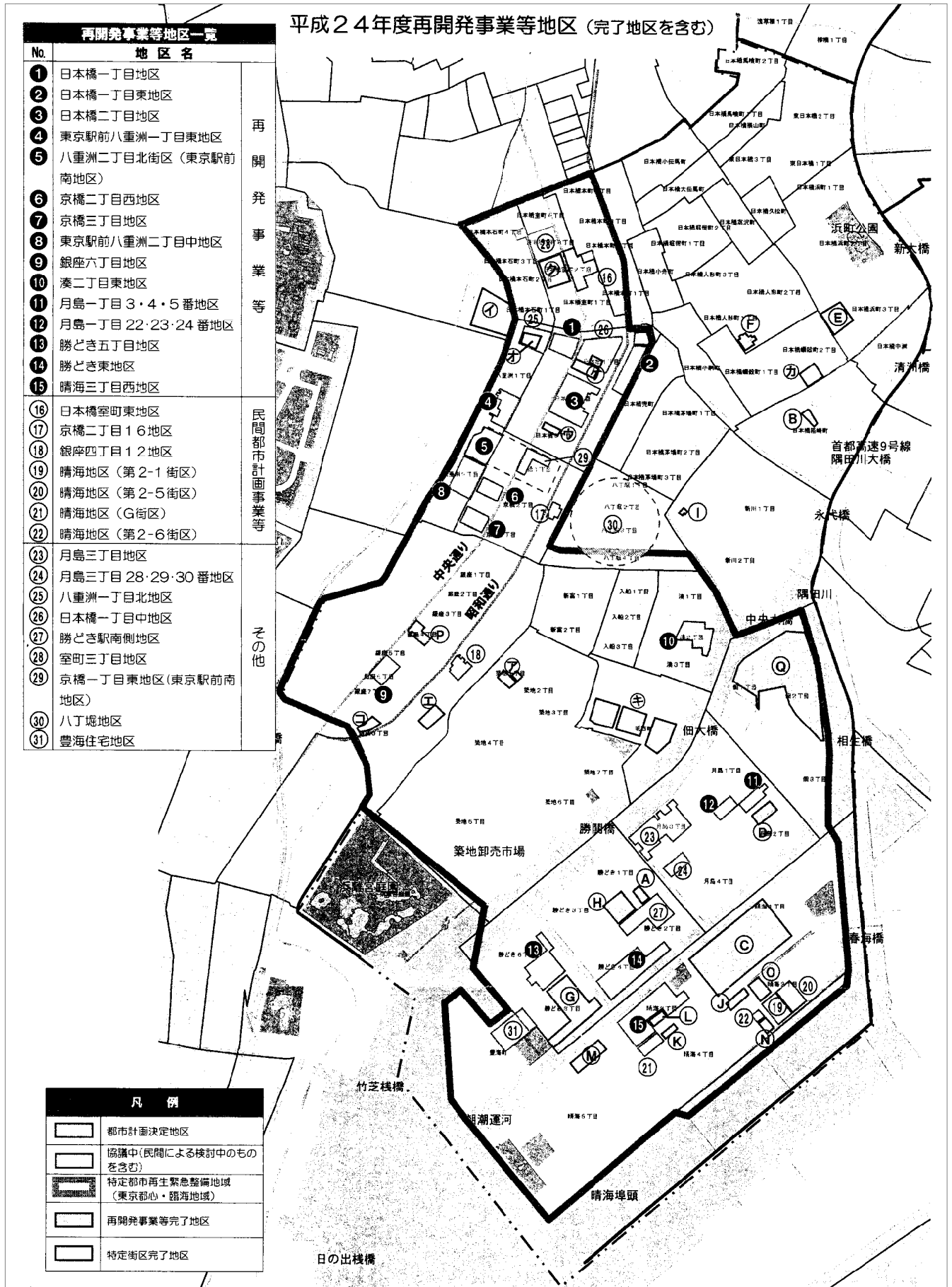
「住民が主人公」というには、ほど遠い中央区のまちづくりを議会で批判するのは日本共産党だけです。

裏面に地図を載せましたが、現在、区内では、31もの地区で大規模開発が計画されています。

*写真は、各社のホームページから転載しました。

区内で 31 地区

現在計画されている再開発事業等の分布図



「意見」を要望など、お気軽に「連絡ください」(03-6369-6906)